

～ Serving the *Community* and Supporting the *YMCA* since 1976 ～



埼玉ワイズメンズクラブ

Saitama Y's Men's Club

今月の国際テーマ : *Community Service*

2023年
3月



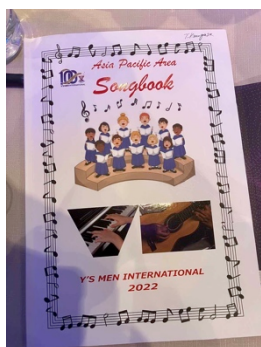
今年度クラブテーマ「地域と繋がろう・地域を知ろう・地域に知られよう」



国際ワイズメン 100周年
記念大会 @ 台北
2023年3月10日～12日



3月10日から3日間ワイズ運動 100周年記念大会が台北市内のホテルで開催された。コロナ禍で2度延期され、今回は3度目の正直が叶った。男女500人が世界各地から集まって祝った。台北ツアー、表彰式、食事会、講演会、とプログラムは盛り沢山。合間を縫って挨拶回りする人、グループ写真に割り込む人、乾杯する人。誰もが満面笑み。いよいよワイズ運動は2世紀へ。(当クラブからは衣笠・浅羽が出席)



100周年記念にオンラインで作成されたアジア太平洋地域用のソングブック。今後の交流に積極的に活用したい。

< 3月の聖句 >

何事も神のみこころにしたがって願うなら
神は聞いてくださるといふこと、これこそ神
に対して私たちが抱いている確信です。

(ヨハネの手紙第一 5章 14節)

3月「ジェンダー」例会 ご案内

日時 : 3月27日(月) 午後2時～4時

会場 : き咲きてらす (浦和区木崎3-6-6)

プログラム : ワクワワークショップ

* 「ジェンダーと特権」

鈴木洋一氏 Wake-Up Japan 代表理事

* 今月の歌「花」

* 親睦のひと時

* 100周年大会(台北)報告

* コロナ感染症対策は万全に!



“SongFest” チームにY'sの潜在力を見た

浅羽俊一郎



利根川恵子メン（APE2022-23 川越）からアジア太平洋地域（以下ASP）の100周年記念事業“SongFest”委員会の議長役を打診され、好奇心にかられて引き受けたのが2020年3月。ワイズソングを増やそうということ以外は白紙だった。

ズーム会議を毎月重ねるうちに各区代表が出揃い、名称を実務的なTask Forceにした。秋には事業のイメージが固まる。「活動を歌で魅力的にし、運動に新たな活力を与える」を目的に5活動を提示した。1) ワイズソングを増やす 2) ASP向けソングブック（以下歌集）作り 3) 動画で広報 4) 新規事業の開発 5) 音楽家メンバーの連携強化。事業を記念大会で済ませないことにこだわった。

仲良くなったメンバーと会議も楽しく、歌って閉会した。歌集作りが重点化した。ワイズソングや各国の民謡が集まり、西日本区からはオリジナル曲が献上され、世界の民謡を入れて 59 曲になった。会議メモ作成は己の仕事とし、大野 Y's（AP2021-22 神戸ポート）が毎回録音をメールしてくれた。

編集局面に入った昨年9月、頻繁に集まれる5人チームを組織し、細かい編集作業を進めた。今年2月からの台北の印刷業者とのオンライン交渉には台湾区の職員マギーとデービッド（AP2020-21 シンガポール）が介入してくれて救われた。印刷部数については無難派・強気派で議論したが、最後は運動活性化を盾に私が1,200部で押し通した。



で、大会本番。会場に積まれた歌集を目にしたときは唯々安堵と感謝の思いだった。最後の課題は郵送・保管を避けて完配すること。ラチャン（元タイYMCA総主事 チェンマイ）の妙案が功奏した。区毎に一定数を割当て、有志を募って手荷物持参に協力してもらった。当クラブからは衣笠メンと私が分担。

私は解散となるTFのメンバーと大会で直に会えたことが何よりも嬉しかった。またこの2年間については混沌から物が生まれる現場に居合わせたことに感謝している。改めてワイズの潜在力はその個々人だと確信させられた。❖

*写真はTF仲間。左からデービッド、ケビン（台南）、ラチャン、後はジョーン（次々期AP 香港）

2023年3月10日～12日に短い期間でしたが、台湾の台北で行われたワイズメンズクラブ100周年記念会に参加することができました。世界各国からワイズメンが集まり、とても楽しい時間でした。晩餐会でテーブルに同席したのは台南の高雄クラブのメンバーでした。活発な活動をされているクラブで、若い方も多く大きな魅力を感じました。



台湾にはかつて、台北桃園にある三菱電機ルームエアコンの仕事の関係で、よく訪問していました。台北は何度も足を運んだ場所でしたが、久しぶりに訪れてみると大きく変貌し、成長していて、国のエネルギーを感じました。また仕事では訪れることができなかった北投温泉に行くことができました。水や温泉の研究者には有名な温泉で、秋田の玉川温泉と共に強酸性の温泉、硫化バリウムを含むラジウム温泉として、療養所としても使われていたところでした。24時間風呂の技術開発をして機能水を研究していた頃がなつかしく思い出されます。今回は時間がなく訪問できませんでしたが、台中の日月潭、台南の蝶谷など懐かしく思われます。台中日月潭付近の霧社「ムシャミヤマカミキリ」、台南の蝶谷は多くの美しい蝶が飛び交う場所として世界的に有名で昆虫採集家としては何度も訪れたい場所です。台北はいたるところ夜市が開かれますが、大変なにぎわいで、食べ物もおいしいところですが、昔有名だった「スポンの血」は見つかりませんでした。



*写真は夕食を共にした台南クラブとマニラ・ダウンタウンクラブの面々。

などなど懐かしい思い出がある台湾でしたが、ワイズメンズクラブ100周年記念会で、高雄ワイズメンとテーブルで同席できたことは、偶然ながら貴重な経験でした。観光の話ばかりになりましたが、記念会の内容そのものは、ワイズメンズクラブWEBサイトでも報告されていますので、ご参照ください。❖

YMCA Vision 2030

(その4)

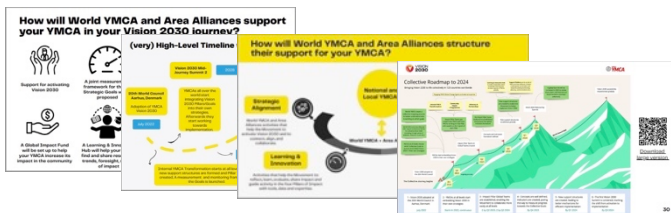
今回は YMCA ビジョン 2030 (以下 YV30) 4 本目の柱は「正義が尊ばれる世界」だ。これもゴールを3段階に分けている。

・第1段階: YMCA 自らが様々な文化や背景を持つ人を受け入れ、訪れた人が安心して過ごせる場所になることを方針に定め、日常的に実践する。

・第2段階: 若者が世界各地で、人々の多様性を認める社会、正義と公正を実践する社会を求めて訴えられるように必要な訓練を施す。

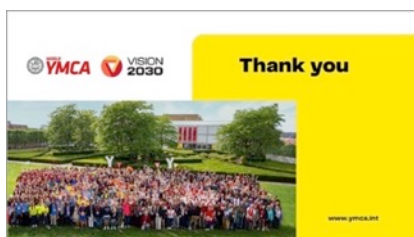
・第3段階: 若者と地域社会が公正な社会を求めて発信力をさらに強められるようにする。特に地域の少数弱者として隅に追いやられるマイノリティの尊厳が守られ、彼らの訴えが聞かれるよう努力する。

このビジョンを具体化するにはそこに提示された内容に照らして、まず個々の YMCA が自己診断し、その上で組織戦略を YV30 に合わせるように努力せねばならない。当然 YMCA によってどの柱を優先するかは異なる。できるだけ多くの職員・会員を巻き込んで話し合ってもらいたいし、その上で YV30 のロゴも各 YMCA ロゴに添えてもらいたい。



YV30 紹介スライドを読み返して印象に残ったのは、各 YMCA に YV30 と真剣に向き合ってもらいたいという願いだ。YMCA の最新の知見を世界各地から集め、話し合いを重ねて作り上げたビジョン。それこそ複雑化し迷走する国際社会を、一緒に生きていきたい若者たちを誠実に支援したいという YMCA の真剣な声が YV30 だと思う。実にスライド後半には 2024 年への行程やチェックリストも掲載している。

今号で YV30 概略の拙訳を終える。早く公式の日本語訳を期待したい。(浅羽 記) ❖



YV30 紹介用スライド5枚を転載させていただきました。

YMCA の小窓から

* 浦和 YMCA の活動を支えよう!

2月23日(木・祝) クローバークラスのメンバーと羽田空港国際線ターミナルに飛行機を見に行きました。電車をはじめとした、乗り物好きなメンバーや、飛行機を間近で見るのが初めてという理由で集まったメンバーなど様々でした。

展望デッキで、搭乗手続き中の並んでいる飛行機を見て、どの飛行機が先発するのか予想をすることや、ゆっくりと動き出した飛行機が見えなくなるまで空を追っていくのを楽しみました。

そしてコロナが落ち着いてきたら「みんなで飛行機に乗って旅行に行けたらいいね」と期待を膨らませました。(浦和 YMCA 職員 石黒成華) ❖



[石黒成華さんからご挨拶]

この度、石黒は一身上の都合により、3月末をもって退職させていただきます。YMCA をお支えいただく皆さまのおかげで、子どもたちと日々有意義な時間を過ごすことができました。スタッフという立場ではなくってしまいますが、YMCA につながる皆さまとのご縁をこれからも大切にしていきたいと思っております。大変お世話になり、ありがとうございました。

(石黒さんの今後のご活躍を心より応援します。)

* 埼玉 YMCA50 周年記念会の記事は4月号に掲載する予定です。

その他の報告

◆ 2月「早春」例会

1月に続いて今回もメンバーだけで話し合いを続けた。テーマは「ジェンダー」現役の頃の個々の職場における女性について語り合った。徐々に女性管理職が増えたこと。女性目線で作られた企画が成功したこと。役所では組合の影響か、女性差別はなかったこと。と短い時間に「良かった」体験を共有した。だが、ここに女性がいたら異なる話の展開になったかもしれない。日本文化に根づく性差について誤解や失敗を恥ることなく自由闊達に意見交換できるようになりたい。「ワイズメン」とはYMCAのメンというだけでなく、良識あるメンという意味をも持たせたい。

お茶代りの十勝の牛乳はあつという間に飲み尽くされた。伊藤、上松、水無瀬、浅羽が出席。(浅羽 記)



◆ 3月夜談会

3月13日(月)夕刻、さいたま新都心駅西口のけやき広場「青蓮」にて夜談会を開催。今回は第2月曜を定例化しての初会合。衣笠メンと浅羽メンはワイズ100周年大会の日程を1日切り上げて、前の晩に台北から帰国したばかり。

今後クラブで「ジェンダー」を勉強しようと話し合っているが、会長は早手回しに購入したテキスト「ジェンダーについて」を出席メンバーに配布。3月例会はジェンダーをテーマにしたワークショップを予定しているが、事前準備に役立つだろうか。

今回は男だけの参加で「荒野の七人」ならぬ「好々爺7人」となった。ゲストは大輪氏と宮原氏。メンバーは伊藤、上松、衣笠、三浦、浅羽。(浅羽 記)



◆ 次期会長・部役員研修会

新型コロナ感染症が拡散し始めた2020年2月以来、次期会長・部役員研修会は一堂に会する方式に変えて、パソコンからオンラインで参加できるズーム形式を採用していた。それが今回は2年ぶりに3月4日～5日と御殿場の東山荘に関係者が集まり、研修とフェローシップをとともにすることができた。山田次期理事が方針を説明し、まずは魅力的なクラブライフを考えようと訴えた。理事を2期務めるといふ山田氏の熱意がよく伝わった。

ワールドカフェでは富士山部のメンが、コロナ禍が理由で恒例の青少年活動が止むを得ず中止や縮小の憂き目に遭い、何人かのメンが退会していったと打ち明けた。彼らにとって準備から実施まで全て自前でやることに喜びを見出していただけに、例会だけのワイズが物足りなかったという。残ったメンはその分頑張ると言っていた。

夜の部長を囲む懇親会で、私たち関東東部グループは長尾次期部長の考えを聞いたあとは、持ち寄った日本酒の品評会。

最後に残ったメン5人は図らずも皆クリスチャン。クラブも埼玉、川越、所沢、千葉、茨城とバラバラ。めったに聞けない信徒の証しとクラブライフへの率直な思いが聞けて面白かった。(浅羽 記)

📱 仲間からのお便り 📧

◆ 塀和光二郎メン 今月の俳句(俳号 愚道)

1 卒業の孫はだんだん離れてく

孫の卒業は嬉しいけど、いよいよ社会人になって巣立って行きます。

2 胸躍る東京マラソン友捜し

友人から東京マラソンに出るとのしらせ。テレビにかじりついて友人の姿を捜しました。

3 老舗での昼餼の集い吊るし雛

浦和の老舗の料亭で昼餼のコース。入口につるし雛が下ってありましたよ。

◆ 浅羽メン

昨年5月から毎週火曜の朝2時間「き咲きてらす」を開けて、気楽に立ち寄れるカフェ「いこい」とした。今では常連もいる。知らない者同士がつながり、数十年ぶりの再会を間近に見て、改めてここを単に便利な集会場でなく、人と人が対話したくなるような場にしたいとの思いが強くなった。それにつけても対面の意思疎通よりも遠くからでも繋がれるSNSを好むという若い世代の言葉には当惑するこの頃だ。

統計	出席	会員	ゲスト/ビジター
月例会 (2/27)	4	4	
夜談会 (3/13)	7	5	2